

# 同意説明文書

## 1. 本研究の概要

### ◆研究課題名

沖縄県における呼吸器ウイルスの流行状況およびその臨床像を解明する前向き研究

### ◆研究期間：2014年4月～2016年3月

◆対象者：かぜ症状がありインフルエンザウイルス迅速検査が必要と判断された方

### ◆本研究の目的：

せき・鼻水・のどの痛みといった、いわゆるかぜ症状を引き起こす原因はほとんどがウイルスと考えられています。これらのウイルスは健康な人に感染すれば「かぜ」ですみますが、体の抵抗力（免疫）が低下した患者さんではときに肺炎を起こし重症化することが知られています。多くの呼吸器ウイルスがかぜを引き起こしますが、最近の研究では、肺炎をおこし重症化しやすいウイルスがいることもわかってきました。しかしこれらの研究のほとんどは海外のもので、本邦における疫学データはほとんどないのが現状です。そこで琉球大学医学部附属病院第一内科では上記の患者様を対象に沖縄県における呼吸器ウイルスの流行状況を調査し、どのウイルスが重症化しやすいのかなどといった臨床像を明らかにする臨床研究を行っています。尚、本研究で行われるウイルスの詳細な検査は数日から数ヶ月かかるものであり、治療方針を決めるための検査ではないことをご理解ください。

## 2. 検査の実際

インフルエンザウイルスを調べる検査は鼻の穴に細い綿棒を一本挿入いたしますが、本研究では同様の細い綿棒をもう一本だけ挿入し、鼻の奥の粘液を採取いたします。また肺炎と診断され入院となった患者様では、肺炎診療の際に通常検査する喀痰などの呼吸器検体の一部を用いてウイルスの詳細検査を行います。尚、本研究に参加したからといって、追加の費用は一切かかりません。

## 3. 予測されるあなたの不利益

予測される不利益としては綿棒を二本挿入することによる痛みですが、非常に細くて柔らかい綿棒を使用するため、一本でも二本でも痛みはほぼ同等と考えております。また、本研究に同意されなくても診療には全く影響はありません。

## 4. プライバシー及び個人情報の保護について

研究結果は学会や学術雑誌に発表されることがありますが、患者様のプライバシーは十分に尊重され、お名前などの個人情報が外部に公表されることは一切ありません。

### 《本研究に関するご連絡先》

琉球大学医学部附属病院第一内科 研究責任医師：金城 武士

電話番号：098-895-1144